



せんだんの木



今回は5ページあります。どうか最後まで、お付き合いください。

令和7年3月13日 校長 各務 至

感謝の会

3月7日(金)、学校を応援してくださっている地域の各種団体を代表される方々と調理員さん、校務員さんをお招きして、感謝の会を開きました。子供たちは、「ありがとうの花」を歌ったり、手紙を渡したりして、感謝の意を伝えることができました。

さつまいもづくりに携わってくださった栗原様からは、「子供のみなさんが中心です。1人の小さな力を100人合わせると大きな力になります。ここまでできるようになるまでに10年かかりました。これからも協力していきます。」との旨のお言葉をいただきました。この言葉が、子供たちの心にグッと入っていくようでした。

学校運営協議会の皆様をはじめ、多くの地域の皆様に助けていただきまして、ありがとうございました。



学校評価

○ 学校運営協議会、支援推進委員会より

普段、学校の教育活動を多方面から支えてくださっている、地域の各種団体の方々にお集まりいただき、ご意見を賜ることができました。

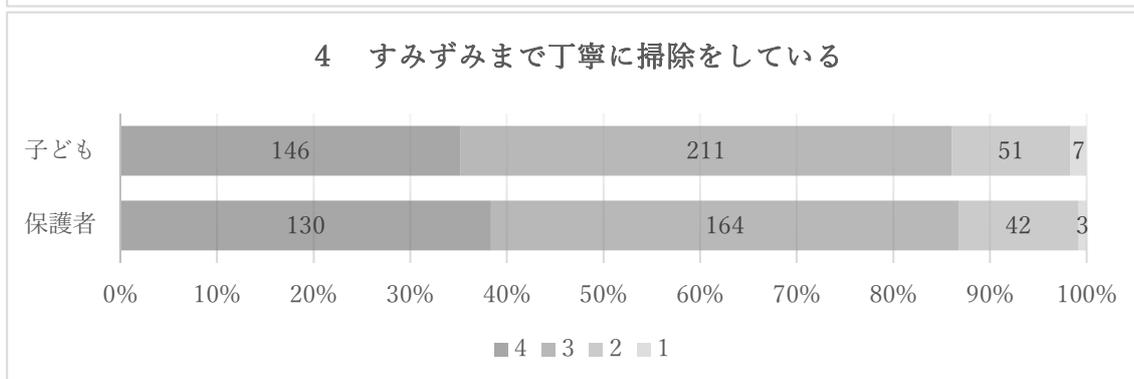
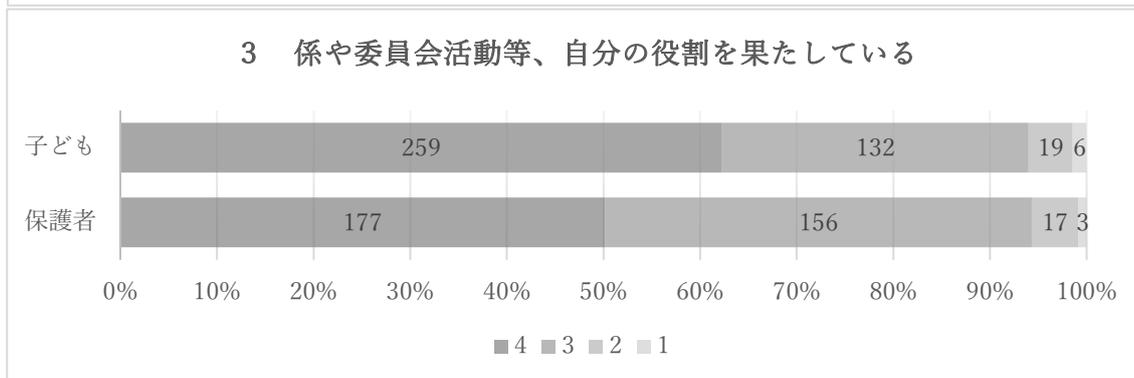
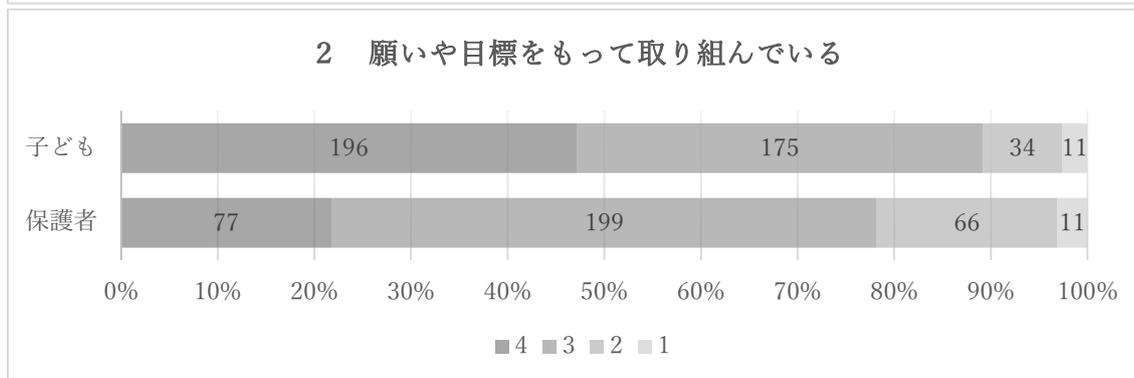
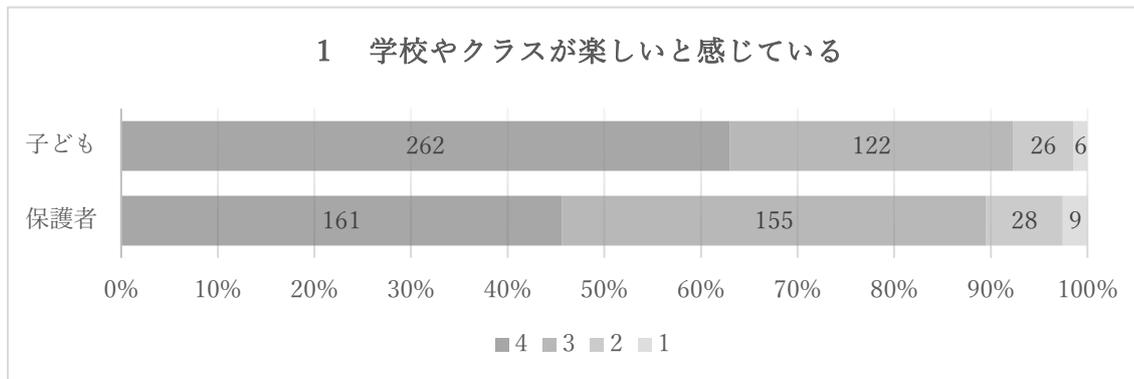
- ・仲間と共に意欲的に学習している姿があり、成長を感じた。
- ・校内に英語の表示があるように、休み時間や普段から英語に触れていけるとよい。
- ・地域では、大人から挨拶をするとほとんど返してくれる。
- ・いじめについて、小さなことでも、そこにいじめの芽があると思ってほしい。
- ・いじめ、不登校の芽は小1でもある。家庭や幼児教育でもその芽を摘んでいく必要がある。
- ・「つらい」と声が出せる環境や、教師や家族がそれを聞いて受け止められる環境が大切である。
- ・日頃から話せるような関係性を築いていくことが必要と感じる。
- ・不登校の要因を学校がしっかりと把握していることが大切である。
- ・ヤングケアラーの児童はいないか。しっかりと把握してほしい。
- ・ここタンも大切だが、先生が子供の表情や動きをよく見ていて、声をかけてほしい。
- ・親同士が地域で近所づきあいをして、もっと関わっていきとよい。
- ・地域での防災訓練を行ってほしい。

このことを踏まえ、来年度の学校運営を進めてまいります。

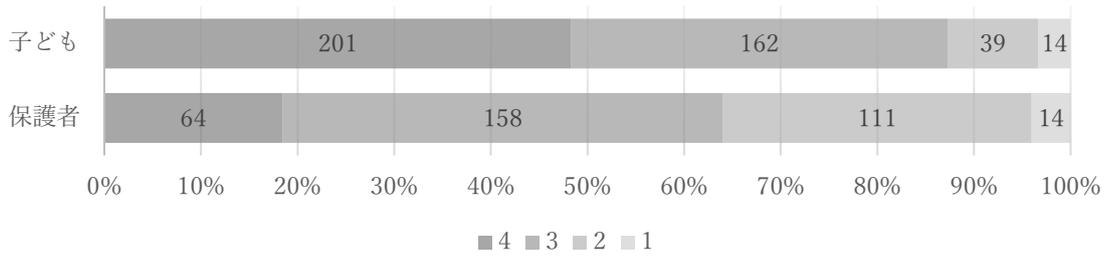
○ アンケートより

お子さんと保護者の皆様から回答いただきました、アンケートを取りまとめましたので、その結果を次の通りにお知らせします。

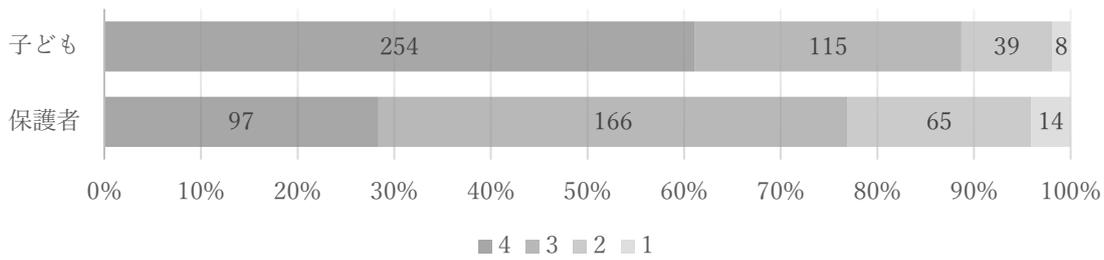
- ・グラフ中の数値は、それぞれを選択した人数になります。
- ・グラフは左寄りの「4」ほど、よい結果を示しています。
- ・16の設問の最後に、考察を示しております。



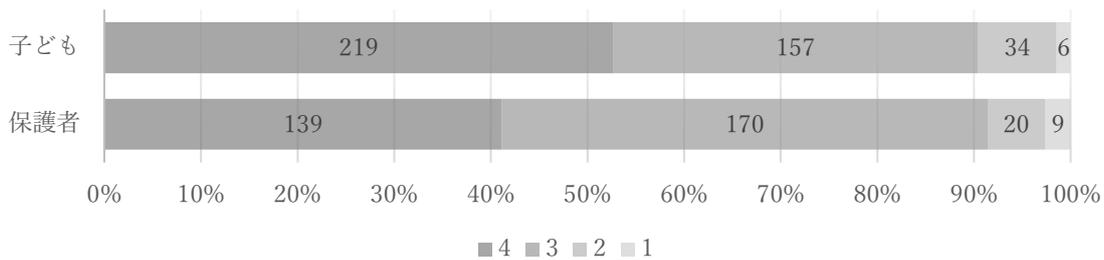
5 教室のロッカーや机など、環境を整えている



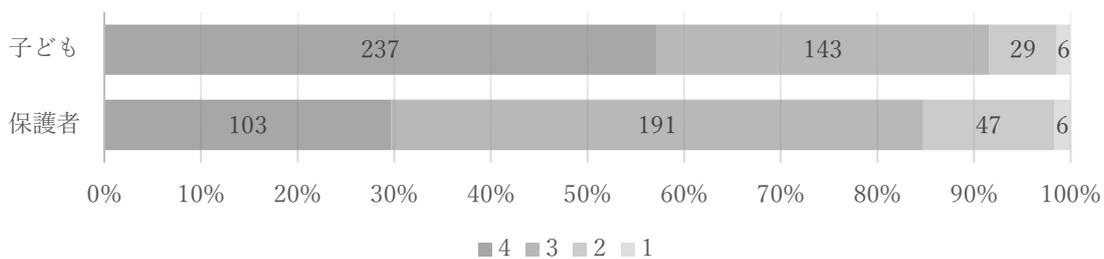
6 仲間や職員、地域の方、来校者に挨拶をしている



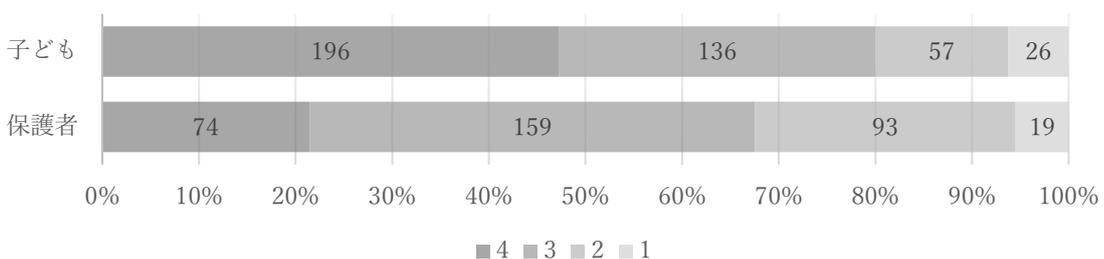
7 仲間の考えを参考にしたり話し合ったりしながら学習している



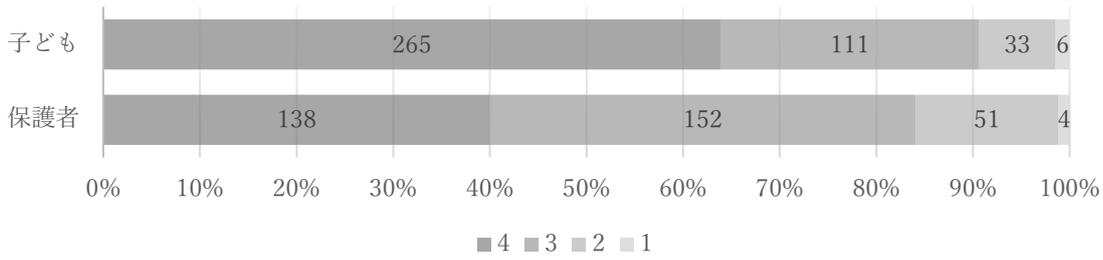
8 「わかった」「できた」と実感して学んでいる



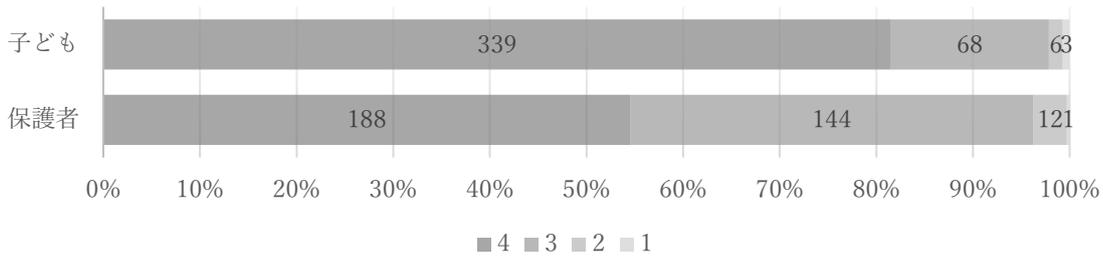
9 英語でのコミュニケーションを楽しんでいる



10 タブレット等、ICT機器を積極的に活用している



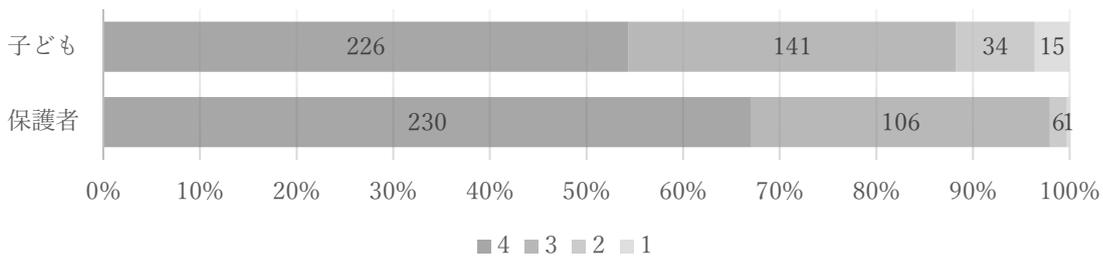
11 他者を大切にしている



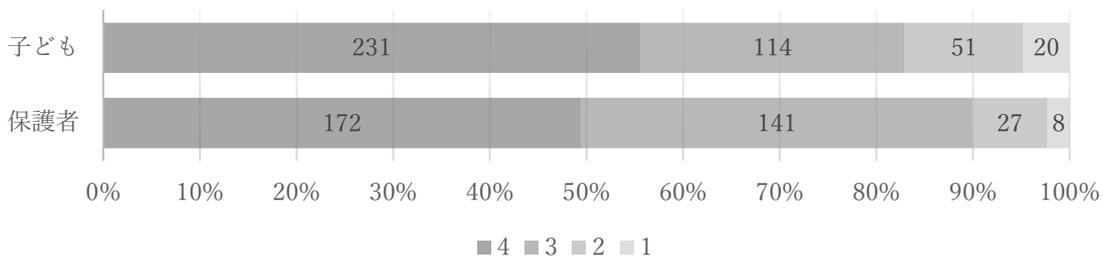
12 いじめは絶対に許さないと考えている

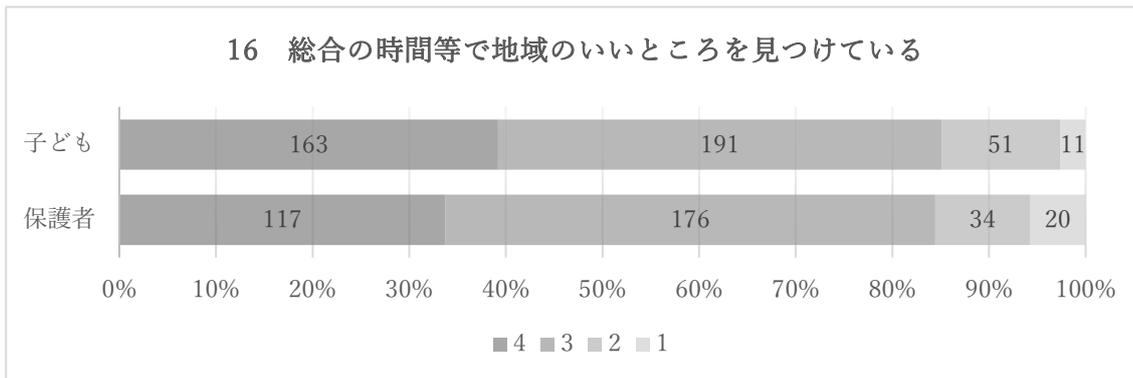
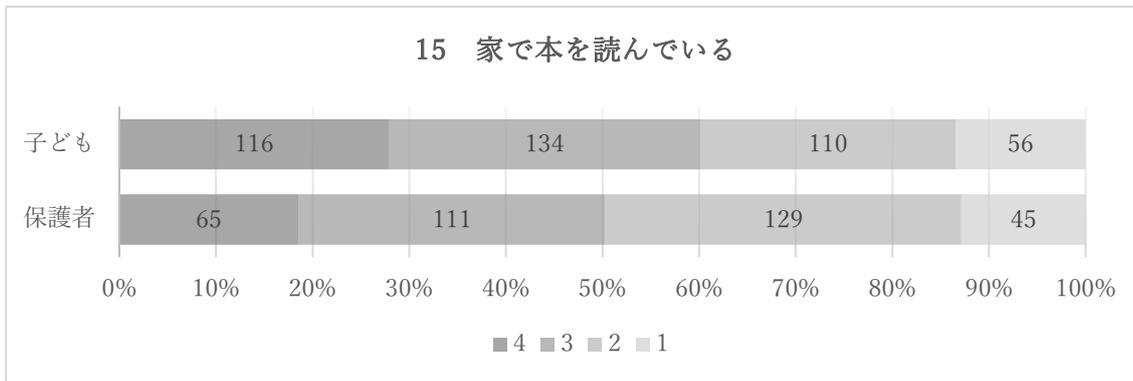


13 いじめなどを見たら、先生や保護者に伝えている



14 学校であったことを家で話している





1 学校が楽しい

90%を超える子供が「楽しい」と回答しています。数値的には高く感じますが、「楽しい」としていない32名の一人一人に思いを寄せることが、真の楽しいにつながると考えています。運動会などの学校行事のような楽しさもありますが、日々の授業や生活に楽しさを見出せるよう、努めてまいります。

2 願いや目標

約90%の子供が「願いや目標をもって取り組んでいる」と回答しています。これは、成長していく上でのエネルギーになる一つの要素でもあるので、学校では、願いや目標について、問い掛けて意識させたり、相談して明確にさせたりすることを大切にしていきます。

8 わかった、できたと実感

90%を超える子供たちが「実感している」と回答しています。これは、学習理解についての自覚ですが、やはり、誰もが「わかった、できた」と言える授業になるよう、見届けを大切にしつつ、設問7、9、10と併せながら、工夫に努めてまいります。

12 いじめは許さない

98%の子供が「いじめは許さない」と回答しています。高い数値ではあると思いますが、特にこの設問については100%を目指し、まず大人の意識を問い直しながら、子供と向き合いたいと思います。また、設問11、13と関連させていきます。

16 地域のいいところ

85%の子どもが「見つけている」としています。設問6も関わらせながら、地域の皆様と関わらせていただく機会を設定したり、地域のことを学べる授業を実施したりしていきます。

子供と保護者の皆様の回答を比べると、多くの設問で、子供の回答の方が「できている。やっている。」となっています。今後、このずれを考えていくことも、子供の成長の手掛かりになると考えています。あらためて、どこかで話題にできればと思います。ご協力をありがとうございました。